

【概要版】

小浜市コウノトリアクションプラン

～自然・食・農が融合し人もコウノトリも豊かに住み続けられる小浜市～



国富地区で撮影された松の枝の上で繁殖するコウノトリ（昭和30年代）



小浜市

令和7年3月

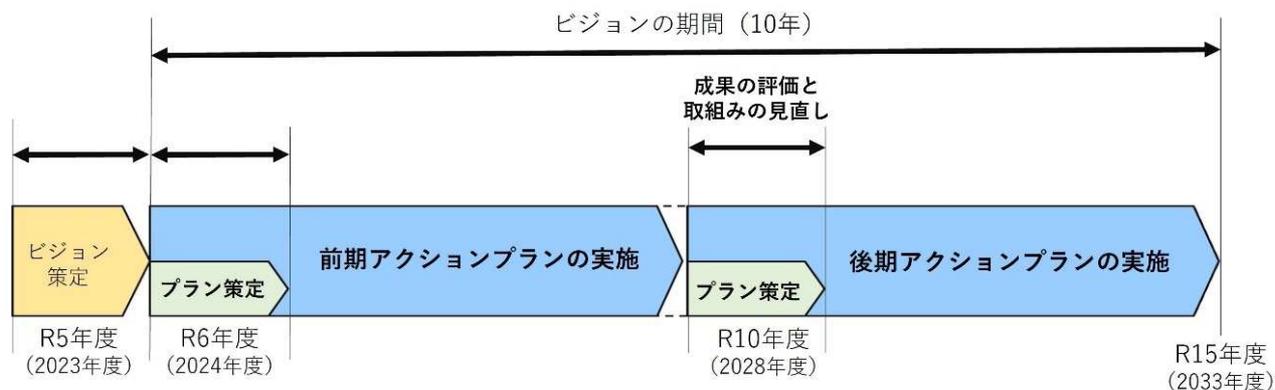
◆ アクションプランの目的と位置づけ

小浜市は、国の特別天然記念物コウノトリが野生絶滅する直前に国内最後の巣立ちとふ化が確認された繁殖地であり、コウノトリと深いかかわりがあります。令和6年3月には、市に縁の深いコウノトリをシンボルとして市の特色である「食」のまちづくりを支える豊かな自然環境を保全し、次世代に伝えることを目指し、「小浜市コウノトリビジョン」を策定しました。

アクションプランでは、「小浜市コウノトリビジョン」で示した基本方針に基づき具体的な取組項目、担当課、取組主体、目標値などを盛り込むことで、ビジョンの実現を目指します。また、このアクションプランの取組みは「小浜市総合計画」（令和3年3月策定）、「小浜市環境基本計画」（令和4年3月策定）、「小浜市第4次食育推進計画（食のまちづくり計画）」（令和4年3月策定）および「小浜市里山創造計画」（平成30年3月策定）などの各種計画や多様な事業と連携・協働することを基本に、効果をより高めていくこととします。

◆ アクションプランの期間

アクションプランの期間は令和6年度（2024年度）から10年間とし、5年後の令和10年度（2028年度）に見直しを行います。



◆ コウノトリアクションプラン体系図

ビジョン		アクションプラン	
基本方針	重点項目	取組項目	重点プロジェクト
保護	コウノトリの保護に関する基本的な取組み	① コウノトリ保護活動	
		② 市政広報等での情報発信	
		③ 人工巣塔の設置および里山の保全再生	
【1】 できる自然環境の創出	水田・水路・河川のつながりの回復	④ 小河川や水路での小さな自然再生	重点プロジェクト① コウノトリの主な餌場環境は田んぼです。田んぼの生物多様性を再生するため、 <u>水田ビオトープ・退避溝を整備</u> します。(P22)
		⑤ 水田ビオトープ・退避溝の整備・維持管理	
	自然環境の把握と自然再生事業の効果の検証	⑥ 生息環境に関する調査等の実施・受入れ	
	自然保護活動の支援	⑦ 自然再生活動団体の育成	
【2】 推進と農地の保全	環境に配慮した農地集積等生産基盤の適正管理	⑧ 生物多様性保全に配慮した基盤整備事業の実施	重点プロジェクト② コウノトリと共生する農業を目指して、 <u>特別栽培米、有機栽培米を推進</u> します。(P23)
	早期湛水や中干延期などの生物多様性に配慮した米づくりの推進	⑨ 早期湛水等の推進	
	担い手育成	⑩ 環境保全型農業に取り組む生産者の育成と拡充	
	減農薬・有機栽培の推進	⑪ 特別栽培米、有機栽培米の推進	
【3】 人づくりと経済循環の創出	旧国富小学校を活用した市民へのコウノトリの普及と啓発	⑫ 施設やイベント等での普及啓発	重点プロジェクト③ <u>生き物調査や食農教育等を推進</u> し、食の大切さだけでなく、食を育む農業や環境の大切さを学びます。(P24)
	子どもたちへの自然環境教育の実施	⑬ コウノトリの観察や生き物調査、自然環境教育の推進	
	地産地消と「御食国若狭おばま食文化館」を活用した特色ある食農教育の推進	⑭ 食農教育の推進	
	農産物のブランド化と多様な分野での商品開発	⑮ ブランド化の取組みや商品開発の推進	

◆ 重点プロジェクト 一覧表

	重点プロジェクト①	重点プロジェクト②	重点プロジェクト③
取組項目	【アクションプラン⑤】 水田ビオトープ・退避溝の整備・維持管理	【アクションプラン⑪】 特別栽培米、有機栽培米の推進	【アクションプラン⑬・⑭】 ・コウノトリの観察や生き物調査、自然環境教育の推進 ・食農教育
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・休耕田を活用した、水田ビオトープを整備 ・田んぼの一部に退避溝や小水路を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・化学農薬等の低減による特別栽培米や有機栽培米の生産拡大 ・生物多様性と安全・安心な食の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代への普及・啓発活動
取組みの方法・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●水田ビオトープ <ul style="list-style-type: none"> ・休耕田に常時水を貯める場所を設け、草本の適度に管理 ●退避溝 <ul style="list-style-type: none"> ・耕作中の田んぼの一部を溝状に掘り下げる ■期待される効果 <ul style="list-style-type: none"> ・水田ビオトープ：恒常的な水域や陸域の草地を管理することで、多様な生物が生息できる空間を創出 ・退避溝：中干しや稲刈り前の渇水時に水生生物が退避し、生息できる水域を創出 	<ul style="list-style-type: none"> ●研修会や先進地視察 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術の向上、生産者や消費者の意見、ニーズの把握 ・専門家を招いた実証圃場での実践と座学研修 など ●拡大方策と出口戦略 <ul style="list-style-type: none"> ・国の環境保全型農業直接支払交付金の活用 ・ふるさと納税を活用した販路拡大など ■期待される効果 <ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい米づくりの普及拡大により、生物多様性と持続的な自然の恵みを楽しめる農地の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ●生き物調査 <ul style="list-style-type: none"> ・水路やビオトープに生息する水生生物の調査 ●環境学習・講座 <ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリについての学習 ・自然環境の学習や講座 ●食農教育 <ul style="list-style-type: none"> ・マキ割や米研ぎ体験 ・食農教育の講義など ■期待される効果 <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保全への意識醸成や多様な分野が連携、協働することによる地域資源の活用
担当課	環境衛生課・農政課	農政課	環境衛生課・食のまちづくり課 ・教育総務課・農政課
取組主体	農業者・農業団体・土地改良区 ・市民活動団体	農業者・農業団体・福井県農業協同組合・福井県	市民活動団体・農業者・農業団体・研究機関・事業者
数値目標	水田ビオトープ設置面積 2.7ha【現状：0.3ha】 退避溝の設置箇所数 10箇所【現状：2箇所】	特別栽培米・有機栽培米圃場面積 63.2ha【現状：52.6ha】	生き物調査の実施回数 年9回【現状：5回】 環境学習等の実施回数 年5回【現状：1回】 食農教育の実施回数 年4回【現状：0回】

小浜市コウノトリアクションプラン

令和7年3月発行

編集・発行：小浜市（民生部 環境衛生課）

〒917-8585 福井県小浜市大手町6番3号

TEL：0770-64-6016

FAX：0770-53-1016

<https://www1.city.obama.fukui.jp/index.html>

E-mail: kankyouseisei@city.obama.lg.jp



小浜市 HP